

シルバー やまがた

第136号 令和元年10月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,146名 賛助会員 41個人・70団体(8月末現在)



秋色の沼辺(蔵王ドッコ沼) 広報部 高橋俊二さん撮影

— 内容紹介 —

- | | | | |
|----|-------------------------------|------|-----------------------|
| P2 | 第16回 安全標語入選発表・安全講習会の開催 | P6~7 | 会員のひろば |
| P3 | 事業普及啓発促進月間
体験型交通安全教室 体験者の声 | P8 | 就業会員を訪ねて |
| P4 | 女性限定入会説明会の開催
女性部会だより | P9 | 人あり・技あり・心あり
新入会員紹介 |
| P5 | わが街自慢 | P10 | 事務局だより |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



第16回 安全就業標語入選発表・安全講習会の開催

安全就業標語入選作

最優秀	令和こそ 事故0目指せ 安全就業	(南山形・本沢地区	塩野美智子)
優秀	事故防止 一人ひとりが 主役です	(鈴川三地区	藤田 清)
	ちょっと待て! あせる気持ちか 事故のもと	(第二地区	鈴木 靖子)
佳作	事故ゼロは ルールを守る 心から	(鈴川三地区	杵渕 勝利)
	シルバーの 令和は事故「0」心の輪	(鈴川二地区	加藤 芳男)
	あわてず あせらず 気を抜かず 安全就業の第一歩	(千歳地区	設楽 みつ)
	慣れた作業に落とし穴 ルールを守り 「事故防止」	(東沢地区	川島 富隆)
	見逃すな 危険が潜む 落とし穴	(出羽・明治地区	結城多美子)
	気を付けよう 熟練世代の 自信過剰	(西地区	吉永 二郎)

安全就業推進委員長 會田 健治

八月五日に山形テルサにおいて第十六回安全就業標語入選発表と、表彰式後に安全講習会が行われました。過去最高の一六四名の参加があり、各地区の班長、副班長、組長及び職班リーダーの皆様方からの取りまとめに協力をお願いいただき感謝申し上げます。

安全就業は、センターはもちろん会員の皆様にとっても最も重要な課題の一つです。この度の安全就業標語の応募者数は九十五名、応募総数二二六編であり、会員の皆様の安全意識が高いことが伺われます。入選された九名の皆様、本当におめでとうございます。

人身事故や物損事故が起こらないように全会員・職員が丸となって安全就業・健康管理及び交通安全の確保に努め、「安全就業は何よりも優先する」を基本に日々事故ゼロをめざし安全心得を順守し、明るい就業先の環境づくりにご協力をお願いしたいと思います。

今年度の安全講習会は山形警察署交通第一課係長鈴木新太郎氏に「高齢者の交通安全について」と題して講演をお願いしました。いまや社会問題にまでなっている高齢者の交通事故の問題が毎日のように報道されており、他人事とは言えない状況です。このような中、この度の講演のテーマは良い機会ではなかったかと思えます。また、会員の方も就業先に

自家用車を利用する機会が多い現状で、山形県は車利用の依存度が高い県であるといわれています。ドライバー側からの視点と歩行者側からの視点での事故発生要因等を具体的な内容で講演をしていただき、大変参考になりました。特に高齢者の交通事故は七月・八月の午後一時から三時までの間が多く、ぼんやり運転・出会い頭の事故、また夕暮れや夜間に事故が集中することであり、注意しなければならぬことを確認いたしました。また、交通安全危険予測シミュレータの映像による体験型交通安全教室では時間が少なく、多くの人が体験できなかったことを残念に思っております。

全国的に重篤事故が年々増加傾向にあり、「就業中の事故」は墜落・転落・転倒で原因は不注意、油断が主な原因です。「就業途上の事故」は自転車・原付バイクで特に自転車の左側通行と一時停止違反が主な原因です。何事もルールを守る事が安全な就業を継続するために重要であることを痛感し、大変有意義な安全講習会でありました。



受賞者の皆さん

十月は事業普及啓発促進月間です

—生涯現役社会の一層の推進を—

高齢化社会が進む中、就業やボランティア活動を通じて、地域社会の活性化と福祉の増進に貢献できるよう事業運営を行なっております。

国の「働き方改革」の推進もあり、会員の拡大が必須であります。全シ協の「会員一〇〇万人達成計画」に協調し、会員拡大に努め平成三十年度末は前年度より七十四人増の一、一六〇人になることが出来ました。今後「生涯現役社会」実現に向けて、積極的な取り組みを進めてまいります。

この状況にあたり、十月の事業普及啓発促進月間において、次の事業を実施いたします。会員の皆様のご協力と参加をお願いいたします。

一 事業実施期間

十月一日(火)から

十月三十一日(木)

二 事業の実施内容

① 会員と市民が交流するシル

④ 一・一(イチイチ)運動の推進

バーフェア等会員互助会文化祭の開催(作品・パネル等展示)

十月二十七日(日)から
十月二十九日(火)

役員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施

会員による街路清掃活動 十月二十三日(水)山形駅西地区他、地区研修会場等の清掃等社会奉仕活動の実施

② マスメディアに対する報道の働きかけ

普及啓発活動内容等の山形市役所市政記者クラブへの情報提供

③ ポスター、リーフレット、広報映像等を活用した役員、会員による普及活動、及び加入の働きかけの実施

役員による街頭啓発活動(イオン山形南店・山形北店)

十月八日(火)午前十時

体験型交通安全教室 体験者の声



出羽・明治地区 樋口 俊樹

三十五年優良運転者として自負しておりましたが、一昨年信号機のない交差点で車と衝突してしまいました。私に一時停止の義務があったのですが、標識が全く目に入らなかったのです。考え事をしていたのです。幸いにも双方に怪我はありませんでした。今回の安全講習会で試乗運転をさせて頂きましたが、とっさの反応はかなり鈍くなっていると感じました。

今後は、高齢者であることを自覚し、その上で運転時には、「時間に余裕を持つ」「集中する」この二点に徹したいと思っております。

南山形・本沢地区 横尾 政雄

交通安全シミュレータを経験したのは、私自身初めての体験でありました。やはり、アクセル・ブレーキの踏む感覚がつか

めず、そ

して周囲

の画面に

目が行き

届かず、

目の前ば

かりの画

面だけで

両脇のこ

とは視野

に入っておらず、すぐ事故を起

こしてしまっている現状でした。

この現状を踏まえ、近年騒が

れている高齢者の免許証の早期返

納へとつながってくるであろう

と思います。確かに運動神経が

鈍くなってきたと感じてい

る方は、私だけではなく多くの

方が痛感していることと思いま

す。

しかし、返納となると簡単な

ことで解決できるものではありません。個々に事情があり、一

概にでき得るものではないこと

を解ってほしい。とても貴重な

体験をさせて頂きました。



体験風景

女性限定入会説明会の開催

「女性限定入会説明会」が九月六日（金）山形テルサの大会議室において開催されました。

女性会員の会員登録については、全体の会員数の約三割といたった少ない状況であることから、昨年度に続き、今回二回目となる女性の方だけを対象とした入会説明会を行いました。当日は、今回の開催のチラシを新聞折込みで見に来られた方や、フリーペーパーへ当センターの特集記事が掲載され、それを見て参加された方、総勢二十六名の女性の方からご参加いただきました。

開催当日は、対応する側も女性だけで行い、司会進行、センターの概要説明、就業体験等の発表や愛好会の活動発表も、すべて女性の職員・会員の方で行い、和やかな雰囲気の中で開催されました。

今回の説明会でご入会された方は六名という結果でしたが、入会を見送られた方のお話しを

伺うと、現在まだ仕事をされている方や、ご家族の方と相談してから入会するか決めたいという方、シルバーの名前は聞いた事はあられるけれど、どういう事をしているのかまず説明を聞いてみたかったというお話しでした。

今回の開催は未定ですが、一人でも多くの方からセンターの事を知っていただき、ご入会いただけるよう努めて参りたいと思います。



説明会風景

女性部会だより (菅笠作り)

女性部会長 塩野美智子

山形の花笠まつりの笠作りを始めたのは四年前になります。飯豊の中津川で冬仕事として作っていました。高齡のため作り手不足となり山形市よりシルバー人材センターの女性部に継続してほしいとの依頼がありました。

前部会長の村田せつ子さんが発起人となり部会員一同相談した結果、一度挑戦してみようと役員の部会員四名で立ち上げました。菅野課長より尾花沢のシルバー人材センターに何回も講習会へ連れて行ってもらい一生懸命勉強しました。

今年度もよりあい産直会議室をお借りして六月から製作を開始しています。八月四日の奉納式に間に合うよう、十名で十五個完成いたしました。

一個完成するのに二日間必要です。「菅」は百本使用します。笠の枠に一本一

本巻き、枠の周りに一本一本立ち上げて、それを一本一本針で縫っていく作業です。真夏の暑さにも負けず、女性会員のすばらしい連携で、楽しく二ヶ月間頑張りました。お陰さまで奉納式への参加も三回目となり、大変光榮に嬉しく思っています。

材料の菅を作っている方は天候により良い品物が少なく大変苦労していたようです。私達も製作に非常に困って大変でした。花笠作りの女性部の皆さん、暑い中大変お疲れ様でした。



菅笠作り講習会

滝山二地区

沼沢 久雄

滝山のプロローグ

滝山地区は、「西蔵王・瀧山・千歳山」などの豊かな自然を背景に多くの名所・旧跡を有しています。その歴史は古く、現在では、それらを活かした市民の観光、レクリエーションの拠点として親しまれています。

さらに近年の急速な都市化進展により、地区人口が二四、八六八人・世帯数一〇、五八七世帯となり（二〇一九年一月一日現在）このような中、地区のシンボル瀧山（一、三六三段）は修験の山として、八五一年慈覚大師により開山されたと伝えられています。

また日本一の古い鳥居ヶ丘の石鳥居（国指定重要文化財）や西行法師の行脚など古い歴史や遺跡に色取られています。近年は大山桜の名勝地としてシーズンには、県内外から多くの観光客でにぎわっており

ます。

また、松の精と阿古耶姫の伝説で名高い千歳山は、古くより山形市民から親しまれ、ハイキングコースとして人々の訪れが絶えません。千歳山の麓では、江戸時代から焼き物が盛んに行われていますが、これも千歳山の陶土の材料と燃料の千歳山の赤松に負うところが大きいと考えられます。今でも梨青磁等の平清水焼きが有名です。



石鳥居

地域紹介

わが街自慢



第五地区

柿本 青史

第五地区は、七日町から小白川を抜ける街道から小荷駄町、東原、千歳山に抜ける街道の間にあり、江戸時代からの七日町四丁目一〜四、七日町五丁目、小姓町、諏訪町と明治以降の東原地区、南原町一丁目一〜九、あこや町一〜三丁目、松波一丁目が入ります。

今回はあこや町を紹介します。昭和三〇年以降区画整理で開発された地区がほとんどで、山形駅から東に延びる幹線道路と南北に延びる国道十三号線バイパスが交差しています。新しい町名や公園の呼び名を決める時に、千歳山北側の万松寺に伝わる「阿古耶姫伝説」の中納言藤原豊充の娘で琴や和歌に優れた阿古耶姫と松の木の精で笛の上手な名取太郎の悲恋の物語から拝借したとのこと。

町名は「あこや町一丁目、二丁目、三丁目」とし、一丁目の公園は「名取公園」、三丁目にある公園は「太郎公園」「姫公園」となりました。中でも、名取公園は数年前にテレビの「ナニコレ珍百景」で遊具の「パンダ」の塗装が取り上げられ話題になりました。

どうぞ見に来てください。



名取公園のパンダ？

私の趣味



鈴木一地区
倉金 憲司

今年は大変暑い日が長く続き、会員の皆様は大変お疲れ様でした。無趣味の私ですが、唯一サウナが大好きで、六・七・八月の日中暑い日もサウナは欠かさず入湯しました。入湯するのは元会社員、公務員、警察官、教員、呉服屋、建築業、大工、内装業、建具職、車の販売、整備、保険、自営業、骨董関係など同じ趣味人（三十代〜八十二歳まで）の

サウナ好きがいつも集まります。「サウナの効果と入り方」は、
① 汗と一緒に老廃物を出す。身体が温まり新陳代謝が良くなる。
② 血流が良くなり、酸素の摂取量が増え尿酸が分解されやすくなり、疲労が回復する。
③ 中枢神経が興奮し自律神経が調整され、ストレスの解消。
④ 脳に酸素が送られ活性化効果あり方

果。
入り方
《身体を洗い、水を飲み↓サウナ室↓シャワー↓水風呂↓休息↓サウナ室》を繰り返す
興味のある方は是非お試しください。

集まったサウナ内では、体調（頻尿の人は、三陰交のツボを押す）、通院の話、孫の話など尽きることはありません。

まるで、シルバー人材センターの縮図のようです。私も「安全は家を出てから帰るまで」をモットーに、これからも駐車場管理業務に努めてまいります。

シルバー愛好会で余生を彩る



カメラ愛好会
佐藤 輝夫

六十歳で退職してようやく自分の時間が持てるようになり、余生を楽しみたいと、シルバー人材センターの二つの愛好会に入っています。

パソコンクラブでは、学んだノウハウを教えることに喜びを感じつつ、高校時代に趣味としていた写真撮影にもう一度チャレンジしようと思うも、なかなか撮影に行く機会を持てなかつた私にチャンスくれたのがカメラ愛好会でした。

カメラ愛好会は、高橋秀一會長のもと十二名で、定例会と撮影会を毎月交互に開催しています。定例会は情報交換と持ち寄った写真を講評しながら撮影技術の研鑽に勤めています。撮影会は、県内を始めに秋田、宮城、福島の各県から候補地を皆



定例会



撮影会

多員の

健康・趣味

で決めています。先輩たちとワイワイしゃべりながら撮影。作品の出来栄えに意欲を掻き立てられます。

写真が好きだけど、一人ではなかなか撮りに行く機会がなく仲間がほしい方。カメラ愛好会ではメンバーを募っています。仲間と一緒に撮りたい、仲間の写真を見たい。そんな気軽集い、ゆるーく活動する愛好会です。お気軽にお問い合わせ頂ければと思います。



月山にて

一歩一歩



里山クラブ
内田 勝男

里山クラブは、山歩きを通じて自然とのふれあい、健康増進等を目的として平成十六年に結成された愛好会で、主に県内の山歩きをしています。現在会員は十九名（女性五名）で、各人の山の経験も様々です。各回の行事への参加者数は、各人の体力や都合もあり、会員の半数程

度になっています。

四月に総会があり、四月から十一月までの行事計画を立てます。ちなみに今年の予定は、足慣らしとしての経塚山・白禿山から始まり、胎蔵山、兜山、月山、不忘山、百石山、駒ヶ岳（高島）、三吉山・葉山となっています。それに十二月に一泊で納会をしています。

昨年、「やまがた百名山」なる本が出て、今まで知らなかった山が紹介され、里山クラブの行き先も多様になっています。

自然が相手なので、天気が大変気になります。昨年は一回途中で雨に降られました。計画通り実施されました。今年も、不忘山の予定を南屏風岳に変更しました。でも、汗して登った所の眺望はなんとも楽しいものです。

春は山菜、秋はキノコを採ることもあります。七月の月山では例年にならない残雪に苦戦しましたが、ちょうど黒百合も満開でした。

長瀬洋男理事長 旭日小綬章を受章



年号が平成から令和に変わった今年春の叙勲にて、当センターの長瀬洋男理事長が旭日小綬章を受章されました。

長瀬理事長の、地方自治の発展に努めてこられた長年のご功績が認められたものです。

八月二十六日には盛大な祝賀会も催され、山形県知事・山形市長を初めとした二八〇人の出席者の皆様が長瀬理事長のご功績を御祝いしました。

長瀬理事長、おめでとうございます。

狩野 敏男
イオンリテール(株)イオン山形北店

イオンリテール(株)山形北店を訪問しました。平成十年より請負業務や派遣業務等の就労をしております。今年度より新たに商品陳列(商品補充・前出し)と水産関係業務(何れも派遣業務)が加わりました。

今回は商品陳列業務就労の狩野敏男リーダーにお話を伺いました。勤務時間は午前の部(三名)九時から十二時、午後の部(二名)十四時から十七時まで、二日出勤の二日休みの交代制、会員十名体制で年中無休です。入社後、制服に着替え接客時の訓練として笑顔での挨拶を唱和し、売り場へ。

商品陳列は加工食品を各コーナー(飲料・缶詰・菓子等)の決められた商品棚スペースに商品名、バーコードの確認や賞味期限の日付をチェックします。新しい日付の商品は棚の奥に、他の商品も日付順に手前へ並べ、お客様に見栄えを考慮しながら

陳列します。

当初に驚いた事は、メーカー名や商品企画毎に種類があり、商品の種類の多さに戸惑いを感じました。立ち仕事で体が慣れるまで時間を要しました。また、お客様との問い合わせには積極的に行動し笑顔で対応できたと感じます。今後もお客様への「笑顔を大切に」をモットーに従事していきます。

訪問当日は二十日と火曜市のダブルイベントで大勢のお客様が来店されていました。この他に、同店には多数のシルバー会員が就業中で、各業務で益々の活躍を期待しています。

(取材・広報部)



陳列中の狩野さん

就業会員を訪ねて

櫻井 賢司・矢田目喜祥
(株)デンソーソリューション 山形サービスセンター

清住町の「デンソーソリューション 山形サービスセンター」を訪ねました。網干センター長から会社業務概要の説明をお聞きした上で、就業リーダーである櫻井さんにお話を伺いました。

就業内容は、自動車関連製品の修理用精密部品等の仕分け・梱包作業で、就業時間帯は午前が九時～十二時、午後が十三時～十六時の各三時間。それぞれ一名の会員が三名体制で勤務されておられます。物流センターから陸送されてくる荷物は多種多様、多岐にわたるようで、重量のある物は大きな電装品等の六十kg程、軽量で小さい物はポルト・ワッシャー等の数g程、中には外観形状が全く同じに見えて実は異なる物があるため、極めて

神経を集中させての作業になります。

正確に仕分けるためには、アルファベットと英数字で表記された商品ラベルを、部品リストコードと確実に照合することだそうです。

その後、大小様々な部品を個別に梱包してラベルを貼り付け、緩衝材を詰めて一つにまとめ、県内の取引会社等へ再送する準備が整うこととなります。

このような細かい作業ですが、櫻井さんは「もう慣れましたよ」と、網干センター長は「頑張ってくれますよ」と、お二人が見せてくれた笑顔がとても印象的で素敵でした。

(取材・広報部)



作業中の矢田目さん

シルバーに
人あり 技あり
心あり

文化祭に向けて



鈴木三地区
阿部 一雄

会員互助会の会長として、長年にわたり活躍してきた阿部一雄さんに、趣味の園芸についてのお話を伺いました。阿部さんは、毎年十月に開催される、山形市SC文化祭展示会会場で、園芸盆栽コーナーへ毎年出品しています。春は、園芸愛好家には心待ちの季節ですが、文化祭開催の十月後半になると、時期的に園芸

関係の参加作品が少ないため、約十年前からコーナーへ「苔玉」を中心に作品



自宅にて

を展示しています。苔は根がないため、肥料をやるとすぐ枯れてしまいます。また、近年は異常気象などで思うように生えてくれず苦労する事もあるそうです。鉢は日陰に置き、毎日朝夕の水かけをする際は、やりすぎに注意しながら「子育てと同じように、語りかけるように優しく」接しているそうです。阿部さんの人柄や熱意が伝わってきました。苔は種類も多く、現在は炭を掘り苔玉を植えた鉢に取り組んでいます。今年は、段菊も出品予定です。作品展の売り上げは毎年女性部会へ寄付しているとのこと。シルバー会員の皆様方が、共に交流の場を広げ、会員を増やしていきたいでしょう。

互助会の五大事業

- 一、新年会
- 一、春の旅
- 一、文化祭
- 一、芋煮会
- 一、ボウリング大会

十月の文化祭には、見学や出品にぜひご参加ください。

(取材・広報部)

新入会員紹介

第一地区	渡辺 恵子	滝山一地区	三浦 康雄
第二地区	高橋 英司	滝山二地区	高橋千恵子
第三地区	前野 好子	出羽・明治地区	山下 義一
第四地区	佐々木 孝	金井地区	小笠原正剛
第五地区	国井 正明	大郷地区	伊藤昭三郎
第六地区	佐藤 重晴	山寺・高瀬地区	下山 信夫
第七地区	山口 廣美	蔵王地区	長岡 美子
第八地区	奥山 仁	大郷地区	高山タツエ
第九地区	明井ヒロ子	山寺・高瀬地区	伊藤 勵治
第十地区	鈴木 裕美	大郷地区	小林 博男
	長橋 克治	蔵王地区	三浦 良子
	長谷川とし子		宍戸百合子
	宮澤 弘		志鎌 政吉
	佐々木 元		豊田美奈子
	佐藤 彰		山崎 信子
	和田 恒雄		山田 周幸
鈴木二地区	山口 誠二	南山形・本沢地区	栗田 隆子
	安彦 善助		大場 章
	遠藤 茂		天野美枝子
	中山富士子		須貝 惣悦
鈴木三地区	加藤 久男	南沼原地区	庄司きよ子
	星川 力		伊勢恵美子
	鈴木 松子		結城 広秋
	松田 実		井上 吉夫
	松田 圭子		開沼 秀世
千歳地区	遠藤 幸男	西部地区	佐竹 久直
	長岡 静子		黒田めぐみ

事務局だより

山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)23(6)4716(4)7

URL: <http://web.sjc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagata@sjc.ne.jp

行事イベント案内

地区研修会に

参加しましょう

本年も各地区ごとに開催されますので、皆さんのご参加をよろしく願います。

※女性部会では、未使用のタオルの寄付をお願いいたします。地区研修会の際にも受付いたしますので、ぜひお持ちください。

創作品展示即売会

日時：十月二十七日(日)～

二十九日(火)

場所：山形テルサー階

(互助会文化祭会場)

出品作品の準備をお願いします。

男性・女性会員とも積極的な参加をお待ちしています。

お知らせとお願い



消費税率引き上げに伴う

配分金単価の改正について

消費税法が改正され、令和元年十月一日から消費税率が八%から十%に引き上げられます。シルバー人材センターで請け負う事業の契約単価も税率十%を転嫁した金額へ改正となります。契約単価の改正に伴い、配分金単価も改正されます。八%の税込で設定していた配分金単価を、税率十%で再計算した金額が新しい配分金の単価となります。個々の金額につきましては、十月分配分金支払明細書(十一月二十日支払)をご参照ください。

配分金支払日

十月十八日(金)

十一月二十日(水)

十二月二十日(金)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

十月十日(木) 十六日(水)

二十四日(木)

十一月五日(火) 十四日(木)

二十一日(木)

十二月五日(木) 十二日(木)

十九日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

十月九日(水)

十一月十三日(水)

十二月十一日(水)

※就業相談日は、第二水曜日に変更になりました。



あとがき

秋号の会報が発行されました。多数の方に出筆のご協力を賜り感謝申し上げます。

今回号から、互助会・愛好会の方々に、楽しい活動について掲載をご依頼しました。職場以外での趣味や体を鍛える仲間との活動は、人生を楽しみ、長生きできる秘訣と考えます。

シルバー人材センターに入会し、時間にゆとりのある方は、愛好会や互助会の催し物に積極的に、参加してみたいかがでしょうか。昨年号より、アンケート調査・会員モニターを実施し、ご期待に添える「会報」に努力して来ました。広報部も、新たに二名のメンバーが入れ替わり、皆様に親しみやすい会報づくりに努力してまいります。皆様におかれましては、原稿依頼時、ご協力をよろしくお願い致します。

(A・S)